

小林 奈穂

国際大学GLOCOM 主任研究員/研究プロデューサー

(経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会 委員)

2000年より、デジタル&リアルメディアを横断したデータドリブンなブランディング、コミュニケーション、クリエイティブ戦略企画・開発のプロデュースに携わる。

ネットイヤーグループ株式会社、株式会社デジタルパレット（現：電通アイソバー株式会社）、風とバラッド株式会社（現：カゼプロ株式会社）、富士ゼロックス株式会社等を経て、2015年4月より現職。

ベンチャー企業やクリエイティブエージェンシー、大企業に至る幅広い組織での業務経験を活かし、個人と組織の創造性に関する研究活動や、GLOCOM研究員の産学連携プロジェクトのマネジメント、GLOCOM 六本木会議の事務局長など、産官学民とともに社会の共通課題を導き、研究する各種活動の企画・プロデュースを行っている。



国際大学GLOCOMの取り組み

- デジタル時代の新たな社会システムを研究／実装
- 委託研究／共同研究などの事業収入に基づく運営
- GLOCOM=人と智のプラットフォーム
- 産官学民／学際／多世代が集う議論と交流の場
- 中立的な立場からの政策・社会提言活動



国際大学GLOCOMの取り組み

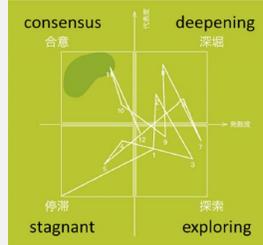
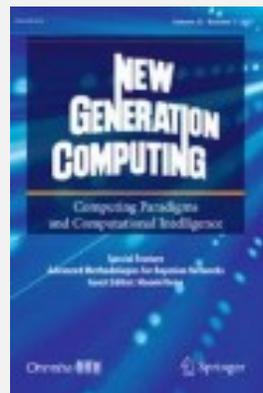
● 委託研究／共同研究



株式会社イトーキ×国際大学GLOCOM

テキストデータを用いた
会議の時系列構造解析手法と状態遷移の可視化手法の研究

Okada, R., Nakanishi, T., Tanaka, Y. et al. A Time Series Structure Analysis Method of a Meeting Using Text Data and a Visualization Method of State Transitions. *New Gener. Comput.* 37, 113–137 (2019).



Google×国際大学GLOCOM Innovation Nippon

まちづくり、災害対応、フェイクニュース対処策など
毎年タイムリーなテーマを策定し、研究/発信/提言



マルチステークホルダー×国際大学GLOCOM 創造性研究

デジタル社会における創造性向上の要因を探索的に研究し
イノベーティブな社会へと向かう情報を発信/提言

国際大学GLOCOMの取り組み

- 議論・交流の場の提供/政策・社会提言活動



情報通信分野において、次々と登場する革新的な技術や概念に適切に対処し、日本がスピード感を失わずに新しい社会に移行していくための議論の場を提供/政策提言を推進



GLOCOM六本木会議オンライン#1

接触確認アプリとはなにか～データ活用時代の新たな公衆衛生を考える～
(2020年6月13日開催)



2018年9月14日
サイバーセキュリティ分科会報告書を自由民主党IT戦略特命委員会 平井卓也委員長（当時、現 デジタル改革担当大臣）に手交



2018年1月23日
教育情報化のブレークスルー分科会報告書を柴山昌彦 文部科学大臣に手交

イノベーションエコシステムにおける大学の役割と私たちがひとりひとりの課題

未来ニーズの構想、共有

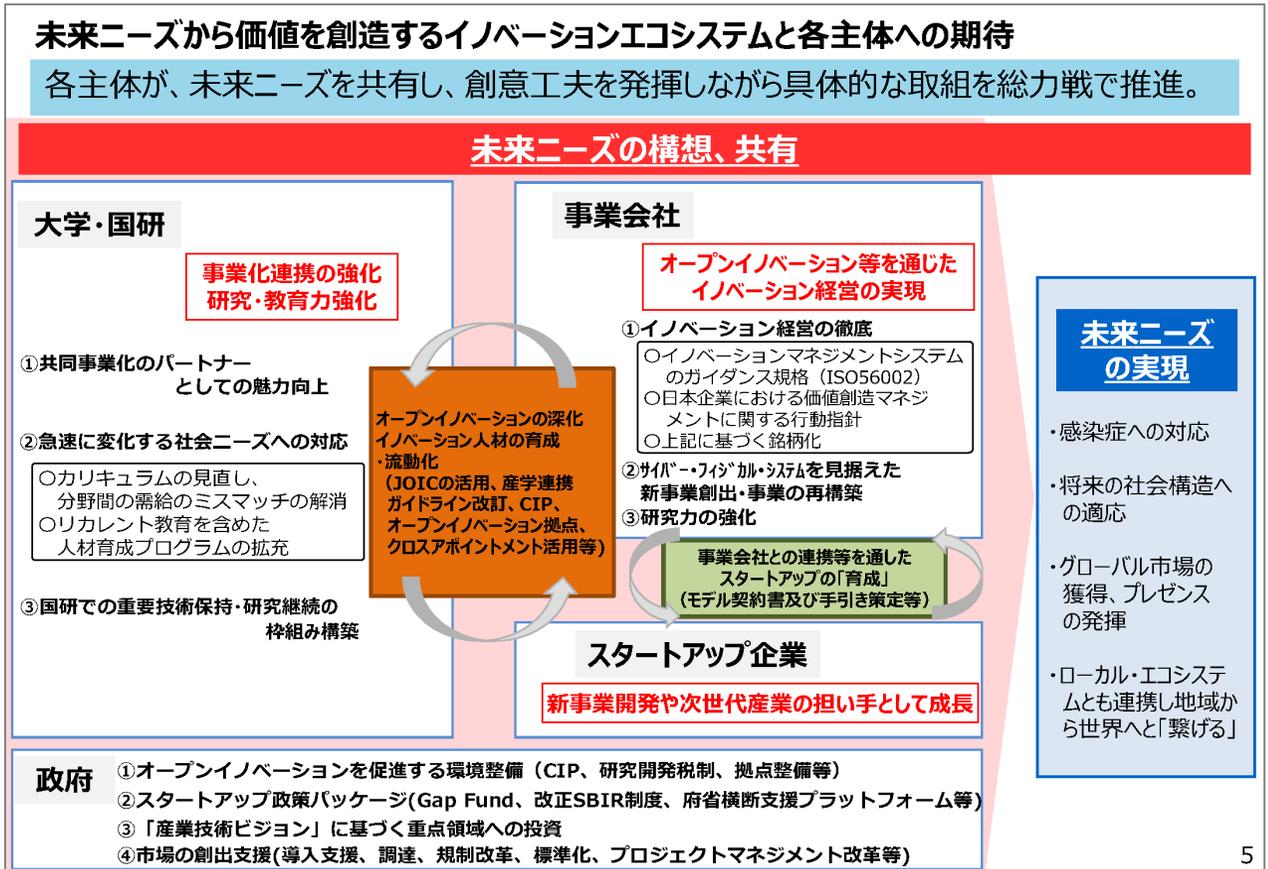
- オープンイノベーションの深化
- イノベーション人材の育成・流動化

個人の課題

越境型のコミュニケーションスキル育成
多様性のなかで独自性を発信できるか

ひらかれた「交流の場」が重要に

ひらかれた「大学」へ



出典：

「産業技術環境政策について」令和2年8月3日、経済産業省 産業技術環境局
https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/pdf/009_02_00.pdf